



# 山 岳 部

■ 1920年(大正9年)公認

部員数

7名



部長  
高嶋 航  
スポーツ科学術院  
スポーツ科学部教授



監督  
福田 倫史



主 将  
吉澤 明宏  
教育学部  
早稲田実業

昨年度末の春山合宿では1年の目標に掲げていた鍾岳に登頂することができた。吉澤新主将のもとで迎えた5月の残雪期合宿は上級生だけで毛勝山に挑んだものの、予定の行程をこなすことができなかった。思い通りにいかないのが山の恐さであり、面白さでもある。失敗から学ぶことは多い。夏合宿は悪天候にもかかわらず、よく粘った。不完全燃焼に終わったが、精神的に大きく成長した。今年は3人の1年生が入部したが、秋までに全員退部した。登山のあり方はますます多様化しており、新入生のニーズに合わせるのは容易ではない、とはいえない。ある程度の人数がいなければ、活動の発展は見込めない。いかに新入生を養成していくかは今後の課題である。

2025年度は吉澤主将以下部員7名体制での活動となっている。やや少人数ではあるものの、登山の趣向として王道ではなく、冒険的な山行への憧れが強いメンバーが揃っており、非常に精力的に山行を繰り返している。結果として、夏山合宿での北アルプス長期山行を成功裏に完遂するなど個人としてだけでなく、部としても着実な成長が感じ取れている。積雪期および集大成となる春山合宿に向けてもやはり冒険性を追求する姿勢が見られ、北アルプス北部や東北など情報の少なく気象条件の厳しい山域へのチャレンジを見据えている。今年度は、将来的に海外遠征などに繋げることを目標に引き続き挑戦し続けていく。

山岳部主将の吉澤です。私たちが山岳部は、年間を通じて様々な山の自然を楽しんでいます。

活動では、安全な登山技術を身につけることを第一に考えています。冬の合宿では、アイゼンやピッケルといった雪山用の道具の正しい使い方を学び、天候を判断するリスク管理も実践します。夏には、雪と岩が混じる難しいルートにも挑戦し、仲間と協力しながら登ることで、チームワークと判断力を養っています。

今後も一生懸命頑張ってまいります。よろしくお願ひします。



主 務  
大元 啓  
政治経済学部  
修道

山岳部主務の大元です。昨年、2名の先輩方を送り出し、私たちの山岳部は新たな一歩を踏み出しました。今年度は三、四年生が2名となり、一人ひとりの責任は大きいですが、同時に部の未来を自分たちの手で創り上げていくという、大きなやりがいを感じています。今年度の活動では、安全管理を徹底することはもちろん、仲間と共に最大限に山を楽しむことを大切にしたいと思います。来年は最上級生として、そして主将として部を率いる立場となります。早稲田大学体育各部の一員としての自覚を胸に、まずは日々の目標達成や円滑な部活動の運営といった足元から固めていく所存です。



## 本年度試合戦績

成績(早稲田勝利:○、引き分け△、敗戦●)

- ◇2025年度残雪期合宿 (5月1日～9日)  
僧ヶ岳までで敗退
- ◇2025年度新人合宿 (6月24日～7月1日)  
奥穂高岳登頂
- ◇2025年度夏山合宿 (7月31日～8月17日)  
表銀座～槍ヶ岳～薬師岳～室堂平の縦走完遂  
剋岳登頂、八ツ峰Cフェース完登
- ◇2025年度小川山合宿 (10月30日～11月2日)  
小川山屋根岩でのフリークライミング  
屋根岩三峰、南陵神奈川完登

